

緑豊かな三島評価

元外務官僚が講演

三島駅前のまちづくりを考える講演会（NPO法人グラウンドワーク三島主催）が5日夜、三島市民文化会館で開かれ、東郷和彦・県対外関係補佐官が講師を務めた。

元外務官僚の東郷氏は在オランダ大使の経歴を持ち、海外の視点

を踏まえ持論を説いた。経済の重要性を認めつつ、「豊かさの質を考える時代」と主張し、市街地でもせせらぎや緑が豊富な三島を「県内で最も外国人に紹介したいまち」と評価した。

その上で、人口減少が見通される社会においては「樹木より高い建物は必要ないので」と指摘した。